

(様式第1号別紙1-1)

介護職員養成研修課程カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	・介護保険サービス（居宅、施設）と介護保険外サービスについて学ぶ。	(1)-①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容について学ぶ。 ・ケアプラン作成からサービス提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ、多職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携等について学ぶ。	(1)-②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人権と尊厳を支える介護	・介護分野におけるICFの概念、QOLの考え方、ノーマライゼーションの考え方について学ぶ。 ・虐待防止、身体拘束禁止、個人の権利を守る制度の概要について学ぶ。	(2)-①
	②自立に向けた介護	・残存能力の活用、重度化防止、意欲を高める支援、個別ケアについて学ぶ。 ・介護予防、健康寿命、介護保険、社会的入院との関係について学ぶ。	(2)-②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	・介護の目指す基本的なもの、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について学ぶ。 ・異なる専門性を持つ専門職種が連携、協働して介護に関わることを学ぶ。	(3)-①
	②介護職の職業倫理	・介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等と関わる際の留意点、また法令遵守、利用者の個人の尊厳について学ぶ。	(3)-②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	・介護職における安全確保の重要性やリスクマネジメント、緊急対応の重要性の理解を事故発生時の対応等の具体的事例から、医療職やサービス提供責任者等との連携について学ぶ。	(3)-③
	④介護職の安全	・介護職に起こりやすい腰痛、感染症予防やセルフケア等の健康管理について学ぶ。	(3)-④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	①介護保険制度	・介護保険制度の理念、位置づけ、仕組みの基礎的理解と制度を支える財源、組織、団体の機能や役割等について学ぶ。	(4)-①
	②医療との連携とリハビリテーション	・リハビリテーションの理念と目的、訪問介護や施設における看護と介護の役割と連携について学ぶ。	(4)-②
	③障害者福祉制度およびその他制度	・障害者総合支援法制度の仕組みとその他の制度の基礎的理解を深め、福祉サービスの適切な情報提供及び関連職種との連携について学ぶ。	(4)-③
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	・介護の現場に必要なコミュニケーションの知識を深め、実践に活かせるコミュニケーション技術について学ぶ。	(5)-①
	②介護におけるチームのコミュニケーション	・チームケアにおける専門職間のコミュニケーションの有効性、重要性について学ぶ。	(5)-②
(6)老化の理解 (6時間)	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	・加齢、老化等に伴う生理的な変化や心身の変化、社会性、身体面、精神面、知的能力等の心身的特徴と日常生活への影響について学ぶ。	(6)-①

	②高齢者と健康	・高齢者に多い病気の症状や留意点の理解を深め、介護における生理的側面の知識について学ぶ。	(6)－②
(7) 認知症の理解 (6時間)	①認知症を取り巻く状況	・認知症の周辺症状のケアのあり方の理解や介護の原則について学ぶ。	(7)－①
	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	・認知症の概念と原因疾患・病態の理解を深め、原因疾患別ケアについて学ぶ。	(7)－②
	③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	・認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴について学ぶ。	(7)－③
	④家族への支援	・家族が受けやすいストレスの理解を深め、認知症の受容家庭への援助、介護負担の軽減について学ぶ。	(7)－④
(8) 障害の理解 (3時間)	①障害の基礎的理解	・障害者福祉の基本理念、障害の概念と国際生活機能分類（ICF）の理解を深め、障害の内容、特徴及び社会支援の考え方について学ぶ。	(8)－①
	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	・身体障害、知的障害、精神障害、その他の心理機能障害について、障害の特性と介護上の留意点について学ぶ。	(8)－②
	③家族の心理、かかわり支援の理解	・介護による肉体的負担以外の家族が陥りやすい心理的傾向やストレスの理解を深め、負担軽減のための働きかけについて学ぶ。	(8)－③
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	【ア 基本知識の学習（12時間）】		
	①介護の基本的な考え方	・理論に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除など）や法的根拠に基づく介護について学ぶ。	(9)－①
	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	・学習に関する基礎知識、感情と意欲に関する基礎知識、自己概念と生きがい、老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因等について学ぶ。	(9)－②
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	・健康チェックとバイタルサイン、骨・関節・筋肉に関する基礎知識、中枢神経と体性神経・自立神経と内部器官に関する基礎知識を学ぶ。	(9)－③
	【イ 生活支援技術の講義・演習（52時間）】		
	④生活と家事	・家事援助に関する基礎知識を深め、家事援助の必要性と援助スタンスについて学ぶ。	(9)－④
	⑤快適な居住環境整備と介護	・快適な居住環境に関する基礎知識を深め、住宅改修や福祉用具の活用について学ぶ。	(9)－⑤
	⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・整容に関する基礎知識を深め、生活習慣の把握、心身ともに快適に過ごすための爪きりや口腔ケア等の意義、身体状況に合わせた衣服着脱について学ぶ。	(9)－⑥
	⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・移動、移乗に関する基礎知識を深め、福祉用具の活用や介助方法の基礎的技術について学ぶ。	(9)－⑦
	⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・食事に関する基礎知識を深め、食事環境の整備、食事に関連した福祉用具の活用等について学ぶ。	(9)－⑧
⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	・入浴と清潔保持のための基礎知識を深め、福祉用具の活用、介助方法の基礎的技術について学ぶ。	(9)－⑨	

	⑩排泄に関連したところ とからだのしくみと自 立に向けた介護	・排泄に関する基礎知識を深め、環境整備や福祉用具 の活用、介助方法の基礎的技術について学ぶ。	(9)－⑩
	⑪睡眠に関連したところ とからだのしくみと自 立に向けた介護	・睡眠に関する基礎知識を深め、睡眠用具の活用、安 眠のための支援について学ぶ。	(9)－⑪
	⑫死にゆく人に関連した ところとからだのしく みと終末期介護	・終末期に関する基礎知識を深め、終末期の生活を支 える介護の提供と医師や看護師との連携について学 ぶ。	(9)－⑫
【ウ 生活支援技術演習 (11 時間)】			
	⑬介護過程の基礎的理解	・介護過程の構成と連携の理解を深め、事例を通して アセスメント、介護計画、実施、評価の流れについ て学ぶ。	(9)－⑬
	⑭総合生活支援技術演習	・訪問介護事業同行訪問及び在宅サービス提供現場見 学での実習を通して、生活支援を提供する流れの理 解と技術の習得、利用者の心身の状況に合わせた介 護の視点について学ぶ。	(9)－⑭
(10) 振り返り (4 時間)	①振り返り	・研修を通して学んだことを振り返り、根拠に基づく 介護技術や支援のあり方等を確認する。	(10)－①
	②就業への備えと研修修 了後における継続的な 研修	・今後の介護人材キャリアパスの理解を深め、研修修 了後の継続的な研修や自己研鑽の進め方等を確認す る。	(10)－②

※1 実施計画欄に、申請者が実施する研修内容を記載すること。

※2 実習を実施するにあたっては、本要綱「14 実習」の内容に留意すること。

